

2008年10月29日

サービス工学研究会活動紹介セミナーのご案内

近年、ビジネス設計や製品設計、エコデザインなど広範な分野で「Product Service System」や「Service Engineering」と呼ばれる製品とサービスの高度統合のための手法が盛んに研究されています。これらは、製造業製品の顧客満足度を最大限に高める方法論と、製品をその生涯にわたって効果的に利用することで製品が潜在的に持つ価値を最大化するための方法論であると極論することができます。このような考え方は、製造業製品に対する顧客満足度の向上のみならず、サービス産業における顧客満足度と生産性の向上、環境負荷の低減にも直結することから、純粋なサービス研究においても既に重要な研究分野であると認識されています。

このような中で、東京大学、首都大学東京は、2002年より「サービス工学研究会」と称し、複数の企業とともに産学協同でサービス設計のための方法論の研究活動を進めてまいりました。

本セミナーは、今年10月よりサービス工学研究会第三期の活動を開始するにあたり、同研究会におけるこれまでの活動を紹介させて頂くことにより、サービス工学に対するご理解を深めていただくとともに、今後の皆様のサービス生産性向上にかかる取り組みの一助となることを願って企画致しました。皆様のご参加をお待ちしております。

記

- テーマ : 「サービス工学によるサービス生産性の向上」
- 開催日時 : 2008年12月3日(水曜) 9:30 ~ 17:00 (受付 9:00~9:30)
- 会場 : 公立大学法人 首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル 12階
- 主催 : サービス工学研究会 URL : <http://www.service-eng.org/index.html>
- 参加費 : 無料
- 定員 : 50名 (定員に達し次第に締め切らせていただきます。)
- 申込方法 : 以下の申込フォームへご記入の上、下記のアドレスまでご返信ください。
e-mail : seforum-event-ml@ml.sd.tmu.ac.jp

申し込みフォーム

サービス工学研究会活動紹介セミナー(2008年12月3日)参加申し込み

サービス工学研究会セミナー事務局行 e-mail : seforum-event-ml@ml.sd.tmu.ac.jp

氏名 : (ふりがな:)

社名/大学名/機関名 :

所属 :

役職 :

Tel :

e-mail :

お問い合わせ先 : サービス工学研究会セミナー事務局

e-mail : seforum-event-ml@ml.sd.tmu.ac.jp

予定内容

◆ 第一部 サービス工学研究会のご紹介

(9:30 ~ 12:00)

- ・ サービス工学研究会およびサービス工学概要

研究の背景、経緯、実績、アプローチ、研究速報
東京大学 新井 民夫 教授、首都大学東京 下村 芳樹 教授、他

- ・ 参加団体による事例紹介

公共サービス、企業ポータルサービス、教育サービス事例
キューケンエンジニアリング、日立製作所、日本電気・NECラーニング

◆ 第二部 企業における取り組み・サービス工学への期待

(13:20 ~ 17:00)

- ・ 企業における取り組み紹介

サービス工学研究・サービス企画方法論の紹介
日立製作所、東芝、NECラーニング

- ・ パネルディスカッション 「 サービス工学への期待 」

モデレータ : 首都大学東京 下村 芳樹 教授
パネラ : 大学、企業

- ・ 第三期期サービス工学研究会のご紹介

第三期サービス工学研究会の活動計画、他
首都大学東京 下村 芳樹 教授

◆ 展示・デモ

- ・ サービス工学ポスター、サービスCADデモ展示

サービス工学概要説明、サービスCAD「サービス・エクスプローラー」デモ展示
東京大学、首都大学東京

※ 尚、都合により上記内容は予告なしに変更する場合がございますことご了承ください。

サービス工学研究会セミナー事務局

e-mail : seforum-event-ml@ml.sd.tmu.ac.jp

以上